

北海道を中心に樺太から千島列島まで生活圏を広げていたアイヌは、寒冷で厳しい自然環境の中で知恵と工夫をもちいて生き抜くとともに、周辺の諸民族と交易や交流をおこない、独自の文化を発展させてきました。その歴史は、アイヌの服飾からもうかがい知ることができます。伝統的な服飾には、植物から採取した靱皮繊維のほか、動物の毛皮、サケなどの魚皮、交易で入手した木綿や絹など多様な素材が用いられています。刺繍によって施される文様をはじめ、色布や糸を巧みに活かす装飾には、受け継がれる伝統と作り手の美意識が反映されています。この展覧会では、華やかで力強いアイヌ刺繍に注目しながら、儀礼などで使用された晴れ着とともに、首飾り、耳飾りといった装身具など18世紀から現代にいたるアイヌの服飾を紹介します。また、蝦夷地と常陸国(現在の茨城県)水戸藩との歴史的関係についても、古文書などの資料をもとに紹介いたします。



## The World of Ainu Embroidery Works

平成28年度 アイヌ工芸品展

# イカラカラ

## アイヌ刺繍の世界



4



5



6



2



7



8



3



9

- 1 衣服(樹皮繊維) 個人蔵
- 2 『蝦夷地名考並里程記』 東京国立博物館
- 3 木村謙次『蝦夷日記』 茨城県立歴史館
- 4 衣服(絹) 北海道大学植物園
- 5 衣服(草皮繊維) 北海道博物館
- 6 衣服(木綿) 苫小牧市美術博物館
- 7 手袋 国立民族学博物館
- 8 輪状帽 国立民族学博物館
- 9 飾金具付皮帯 北海道立北方民族博物館
- 10 首飾り 苫小牧市美術博物館

### [関連事業]

#### ① オープニングイベント

日時: 9月17日(土) 9:30~ 開会式・カムイノミ  
(協力: 苫小牧アイヌ協会)

#### ○スペシャルギャラリーツアー ※開会式終了後 | 要申込 |

講師: 佐々木 利和氏 (北海道大学アイヌ・先住民研究センター 客員教授)  
村木 美幸氏 (一般財団法人アイヌ民族博物館 専務理事)  
会場: 展示室

#### ② ミュージアム・トーク | 要申込 |

「アイヌの衣服から見てきたこと」  
日時: 10月1日(土) 14:00~15:30  
※15:00~15:30は希望者の方を対象に、展示室内にて解説会を行いません  
講師: 吉本 忍氏 (国立民族学博物館 名誉教授)  
会場: 研修室 定員: 50名

#### ③ 刺繍ワークショップ(中級者向け) | 要申込 |

アイヌ刺繍の解説と技法を体験  
日時: 10月29日(土) 13:00~16:00  
講師: 関根 真紀氏 (アイヌ工芸家)  
会場: 研修室A 定員: 20名  
材料費: 500円

#### ○出品協力

網走市立郷土博物館/一般財団法人アイヌ民族博物館/茨城県立歴史館  
国立民族学博物館/市立函館博物館/東京国立博物館/天理大学附属天理参考館  
函館市北方民族資料館/北海道大学植物園/北海道博物館/北海道立北方民族博物館  
上宮寺(茨城県那珂市)/貝澤雪子氏、木村一郎氏

#### ④ 古文書講座 『蝦夷日記』をよむ(初~中級者向け) | 要申込 |

当館学芸員による古文書の解説講座  
日時: 10月22日(土) 13:00~15:00 会場: 研修室A 定員: 30名

#### ⑤ ギャラリートーク

当館学芸員による解説会  
日時: 10月10日(月・祝)、16日(日)、29日(土) 各日14:00~14:30  
会場: 展示室

※各イベントへのお申込みは、苫小牧市美術博物館(電話0144-35-2550)までご連絡ください  
※展示室への入場を伴うイベントについて、高校生以上の方は当日有効の観覧券が必要です

#### ◎公共交通

JR 苫小牧駅南口より、のりば1から「24番」「30番」「札幌駅前」行「郊外線」、のりば2から「21番」、のりば3から「13番」「14番」に乗り「出光カルチャーパーク」で下車(下車後、徒歩約5分)※所要時間約10分、料金210円

#### ◎自家用車

国道276号線と国道36号線の交差点(「苫小牧信用金庫中野支店」など)を港方向へ曲がり、交差点の次の信号を右折。市民文化公園(愛称: 出光カルチャーパーク)内に無料駐車場があります。



### 苫小牧市美術博物館 あみゆー

〒053-0011 北海道苫小牧市末広町 3-9-7  
TEL.0144-35-2550 FAX.0144-34-0408  
<http://www.city.tomakamai.hokkaido.jp/hakubutsukan/>